

高等部後期校内実習

高等部では、11月6日(月)から11月17日(金)までの2週間、校内実習を実施しました。その期間は、登校後作業服に着替えて、手工芸、窯業、木工、縫製、農業・サービスの5つの作業班に分かれて作業学習に取り組みました。一日を通して作業学習を2週間続けることは、体力的にはたいへんだったかもしれませんが、継続して作業に取り組むことは、生活の見通しがもちやすくなるとともに、働く力や態度がより確実なものになり、社会に出るための準備として大切な学習になっています。

校内実習のねらいとしては、

- 長い時間、はたらく力を身に付ける。
- 正しくていねいに仕事を行う力を身に付ける。
- あいさつや返事、ほうこくをきちんと行う力を身に付ける。
- 集中して行う力を身に付ける。

などがあります。それらを踏まえた上で、生徒は班ごとに自分たちで班の目標や個人の目標を考えて、目標が達成できるように努力していました。



ビーズ制作



委託作業

そして、手工芸、窯業、木工、縫製班で作り上げた製品は、地域の作業製品販売会での販売につなげることができました。また、農業・サービス班では、地域の企業から請け負う委託作業（箱折り、カレンダーの梱包など）を行ったり、農産物の加工製品の校内販売を行ったりもしました。

なお、校内実習期間中には、現場実習（産業現場等における実習）で校外に出て働く生徒もいました。生徒達は、校内実習と現場実習の二つの組み合わせによって、「働く」ということの意味を学び、経験を積み重ねました。頑張ったことは、達成感や自信になり、将来につながっていくことでしょう。